

平成27年4月

なばり市議会だより

No. 76

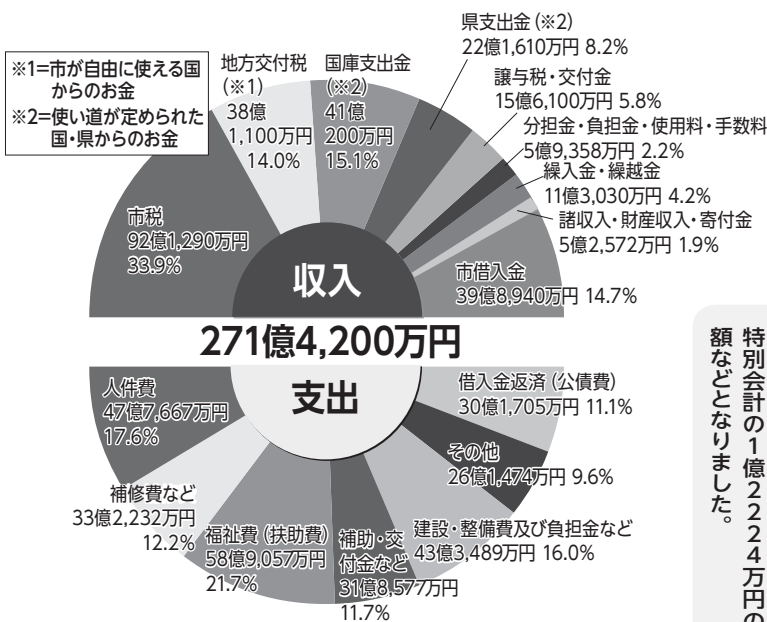
市議会の動きをコンパクトにまとめてお伝えします。今号は 6月 9月 12月 3月 の定例会をクローズアップ

編集/議会広報特別委員会 発行/名張市議会 ●三重県名張市鴻之台1・1 ☎63-7834~5 ㊚64-8870 ✉gikai@city.nabari.mie.jp

看護師を夢見て“看護学校入学式”



平成27年度 一般会計当初予算



◎構成比率は万円未満四捨五入のため、合計が合わない場合があります。

3月定例会(第364回)は、3月2日開会、3月24日閉会の23日間の日程で行いました。提出された議案は、平成27年度当初予算10件、条例16件、一般議案1件、補正予算11件、人事案件4件、意見書提出などにかかる議員提出議案3件です。これらの議案は本会議・予算特別委員会・常任委員会で審議し、45議案を可決または同意しました。3日間の一般質問では、9議員が登壇し市政全般にわたる質問を行いました。なお、平成27

当初予算「271億4200万円」を可決

年度一般会計当初予算については、議会へのタブレット端末(※1)導入に関する予算減額を求める修正動議(※2)が提出されました。

平成26年度一般会計補正予算
補正予算は、一般会計で5億8990万円の増額補正を行い、増額後の平成26年度一般会計予算総額は273億9500万円。他会計では国民健康保険特別会計の3813万円の減額、介護保険特別会計の1億2224万円の減額などとなりました。

※1「タブレット端末」… キーボードがなく、画面をタッチして操作を行うコンピューター
 ※2「修正動議」… 原案の内容の変更を求めて行う提議

Q & A

9議員の質問と、市長などの答弁をご紹介します(一部抜粋)。
掲載内容は議員から提出された原文を尊重して、編集しています。

一般質問

福祉・介護

清風クラブ

豊岡千代子議員



Q 認知症対策について

認知症の人が住み慣れた良い環境の中で生活できるようにと、平成27年1月に各庁が連携し「新オレンジプラン」が策定された。当市の進捗状況を問う。

A 共生できる社会へ

認知症への正しい知識を持ち支援できる「認知症サポーター」の養成に取り組み、現在5596人が認定を受けている。薦原小学校や、すずらん台小学校の4年生の児童に「認知症サポーター養成講座」を開催し、人権教育にも役立てている。認知症の人の安全対策として、行方不明防止のためのGPS(※)の貸し出しや、地域での見守り強化に努めている。偏見を無くし、住み慣れたまちでも生活できる社会の実現を目指す。



公明党

富田真由美議員



Q 障害者差別の解消へ

どのようなことが障害を理由とする差別に当たるのか。社会全体で認識を共有し、全ての国民が障害の有無によって分け隔てなく共存する社会の実現に向け、平成25年6月、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」が制定された。28年4月1日からの施行に向けて、本市にも条例をつくるべき。

A 特色ある条例を

27年度中の条例制定に向けて取り組んでいく。要領策定や、障害者差別解消支援地域協議会の設置を進め、障害者への理解を深めるための啓発や広報活動・研修などを実施する。本市の特色を生かした条例にする予定。



日本共産党

田北利治議員



Q 介護保険の充実求む

平成27年4月から、要支援1、2の通所介護・訪問介護が介護保険から切り離され、まちの保健室を中心とした有償ボランティアに移行される。地域支援事業に移行される。移行時期はいつごろを予定しているのか。介護保険料が上がる一方で、サービス低下につながる。移行時期を遅らせて、これまでと同じサービス提供を求める。

A 10月から順次移行

このままでは高齢者が増えて給付金が不足する。早く移行すれば国からの交付金の対象になるため、今年の10月から、受け入れ態勢ができた地域から順次移行する。



産業・財政

春風会

川合滋議員



Q ものづくり条例を

ものづくりは、文化を支え、産業に刺激を与える。まちづくりであり、人づくりでもある。名張の伝統的産業の継承や、新しい産業の創造のために、名張ものづくり条例の制定を提案する。この条例により、地域資源を活用し、産業振興に役立てるとともに、技術の伝承や、後継者育成をしていくべきだ。

A 制定を目指す

伝統的産業、文化として伊賀焼・火縄・組組・伊賀酒などがある。伊賀米コシヒカリは4年連続特Aだ。独自の技術を持つ企業も多い。名張の産業振興、伝統文化芸術の継承のためにも、ものづくり条例の制定は意義のあることと承知している。制定に向かってスピード感をもって取り組みたい。



市内で1人となった火縄作り

心風会

幸松孝太郎議員



Q 緊急経済対策交付金

国の緊急経済対策としての「地域住民生活等緊急支援のための交付金事業」は、地域消費喚起・生活支援型の2500億円と地方創生先行型の1700億円がある。この交付金の名張市への交付額と今後の事業計画は。

A 1.5億円を有効活用

交付限度額は1.5億円と国から示されている。生活支援型は、消費喚起効果が高いと推奨されているプレミアム付き商品券とし、別途、子育て世帯を応援する特別な商品券の発行も検討している。地方創生先行型は、子ども子育て支援にさらなる重点を置きながら地方創生に向けた先行的取組みを考えている。これらに係る補正予算は、平成26年度内に提案していく。



※「GPS」…人工衛星を利用して、自分のいる場所を測位するシステム

● 産業・財政

心風会

森脇 和徳 議員



Q 超過課税について

平成26年度も一般会計において5億円を水道事業会計から借り入れており、27年度予算からも財政状況は非常に厳しい状況が見取れる。引き続き行財政改革にも取り組んでいただかなければならないが、抜本的に本市の財政の建て直しを図るため、市民に超過課税の負担をお願いするべきだ。

A 導入に向けて検討

新たな財源確保策については検討をしている最中だ。導入時期や手法については説明責任を果たしていかねければならないが、早い段階で議会と市民にお示しをしたい。



● 教育・医療

公明党

阪本 忠幸 議員



Q 中学校給食

教育委員会は、中学校給食実施に向け、積極的に取り組んでいると認識している。実施方式と実施時期は、



A 実施に向けて検討

現在弁当持参を原則としているが、平成17年11月から注文弁当も開始している。全国の中学校給食の実施率は、24年度で約8割。保護者からの要望も強く、27年度中に学校関係者・保護者の代表で検討委員会を立ち上げる。アンケート調査や先進事例の視察を行い、年度末を目途に実施方式について意見を集約し導入時期を確定する。

清風クラブ

常俊 朋子 議員



Q 地域医療について

地域医療の再生に向け、伊賀地域の三輪番制や二次救急医療体制の今後の構想は、

A 伊賀地域の連携強化

国は、公立病院の再編やネットワーク化に伴う整備への財政措置や運営にかかる地方交付税措置の算定基礎を見直す方向で検討中。今後、県が策定する地域医療構想ビジョンとの整合を図り、新たな病院改革プランを策定し、経営改善に取り組んでいく。救急医療体制については、伊賀地域全体で考える必要がある。将来的には、岡波総合病院と上野総合市民病院が機能分担し、伊賀市と名張市で二輪番制を行う。



無党派

柏元 三議員



Q 救急医療の充実を

輪番制を続けていく中で、伊賀市の当番日であっても名張市立病院の受入日を増やし、さらに時間との勝負である脳卒中と心臓疾患に関しては、優先的に受け入れることができないか。

A 改善に向け努力する

現在、水曜日に岡波総合病院が当番の日に合わせて、名張市立病院も受け入れを行っている。医師の確保充実によって状況が整えば、さらに受け入れ可能と考える。早期に処置を受けなければ命に関わる病気の治療に力を入れていきたい。

伊賀地域二次救急実施病院	
4月	5月
伊賀市立病院	伊賀市立病院
名張市立病院	名張市立病院
岡波総合病院	岡波総合病院
上野総合市民病院	上野総合市民病院
...	...

その他質問

Q&A

日本共産党

三原 淳子 議員



Q 保育料の算定は

平成27年度から、子ども・子育て支援制度が変わる。保育料の算定も変わり国の試算では値上がりとなる。第3子以降(3歳未満)の保育料無償化が予定されているが、一人目からの保育料を決して値上げしないよう求める。

A 値上げはしない

子育てがしやすい社会経済環境の整備を図るため、これまで市では保育料を国基準よりも低くしてきた。新制度になっても値上げはしない。

無党派

浦崎 陽介 議員



Q タブレット端末導入

本市は財政非常事態宣言中であり、平成28年度新たな市民負担を考えていると聞く。政策の優先順位をしっかりと持つべきだ。このような時期にタブレット端末の導入はいかがか。ペーパーレス化やICT(※)化を否定するものではないが時期尚早。

A 検証はこれからだ

議会でのペーパーレス化によるコスト削減効果は約250万円であり導入を進める。執行部での検証はこれからだ。

※ ICT (Information and Communication Technology) ... 情報通信技術

産業建設委員会

視察目的 自転車利用環境整備基本計画、エコ住宅建築促進総合支援事業、新規創業者育成支援事業について

視察先 熊本県熊本市、熊本県水俣市、鹿児島県鹿児島市

視察期間 1月14日(金)～16日(日)

熊本市では、自転車交通量が多く、放置自転車対策、利用者のマナー向上など、自転車の利用環境改善などの必要性に着目し、「自転車でおでかけしたくなるまちづくり」を基本理念とした自転車利用環境整備基本計画を推進している。



水俣市は、市の気候風土に合った快適な住環境づくりのため、地元の資源を活用してつくる「環境配慮型住宅」を建築・購入する場合、費用の一部を補助している。

鹿児島市では、新規創業者等育成支援業務を地元の金融機関に委託し、新規創業者などの育成・支援のための起業者支援アドバイザーを配置するとともに、24時間活動可能なオフィスの貸し出しなどの支援制度が充実していた。いずれの施策も非常に参考になる取り組みであった。

議会運営委員会

視察目的 議会改革について(タブレット端末の活用について)

視察先 岐阜県関市、埼玉県飯能市

視察期間 平成26年11月18日(金)～20日(日)

関市議会では、議員提案で平成25年2月以降、段階的にタブレット端末を導入し、定例会や各委員会などの会議資料を完全ペーパーレス化することに成功している。また、議会内の情報伝達や各種資料の情報共有をはじめ、スケジュール管理やカメラ機能の活用など、事務の効率化、コスト削減を推進している。

飯能市議会では、平成24年4月から全議員にタブレット端末機を配布し、議会運営委員会や代表者会議のペーパーレス化を実施し、本会議だけではなく、危機管理上の緊急連絡や、政務活動などにも活用している。



いずれの議会もタブレット端末の活用により事務の効率化やコスト削減、ICT化に力を入れており、名張市でも今度の参考としていきたい。

広報特別委員会

視察目的 タブレット端末導入とクラウド(※2)情報共有システムについて

視察先 東京都立川市

視察期間 平成26年11月12日(金)～13日(土)

立川市議会は、議会資料のペーパーレス化、事務作業や会議の効率化を目的として平成26年9月1日からタブレット端末などを導入している。導入までのスケジュール、使用基準、導入経費など留意すべき点について学ぶことができた。実際にタブレット端末を使って、クラウド情報共有システムを操作体験させてもらい、資料差し替え時の事務量の軽減や資料管理の利便性があると感じた。

本市議会においても、27年度中にタブレット端末などを導入することになっており非常に参考になった。また、市議会だよりの「題字デザイン」を募集したり、目の不自由な人のためにカセットテープ版、CD(デジター規格)版「声の議会報」を作成し、希望者に郵送したりしている。情報発信の強化や工夫に活かしたい。



視察報告

総務企画委員会

視察目的 消防広域化、定住促進、

地域SNS(※1)・ポータルサイトについて

視察先 福岡県久留米市、宮崎県えびの市、熊本県八代市

視察期間 1月19日(金)～1月21日(日)

久留米市は消防の広域化を先進的に行っており、国の財政支援を生かし住民サービスの向上を果たしている。広域化の進め方や考え方には大いに参考とすべきことが多く、名張市における広域化の参考とすべきである。

えびの市は「来やんせえびの」のHPを開設するとともに専門の課を設け定住政策を進めている。えびの市の行っている施策はもとより、課題となっている案件も名張市と共通することが多いことから、今後の名張市の定住施策に提案したい。

八代市は地域SNSである「ごろっとやちろ」を開設し、地域活性化を図っている。市内の市民公益活動を活性化し、成熟を図るために導入を検討すべきだ。



教育民生委員会

視察目的 介護支援いきいきポイント制度、ごみの減量化の取組み、いのちをつなぐネットワークの取組みについて

視察先 岡山県倉敷市、岡山県岡山市、福岡県北九州市

視察期間 1月28日(金)～30日(日)

倉敷市のポイント制度は、高齢者が積極的に地域へ貢献することを奨励し、支援する仕組みだ。ボランティア活動の実績に応じてたまったポイントを換金できる本制度は、社会参加を通して、健康増進が図られるため年々登録者も増加していて、非常に参考になった。

岡山市では、産官学民の研究会が、生ゴミ減量化ハンドブックを作成し市民にごみ減量化を啓発している。好事例の減量化の取組みとして学ぶことができた。

北九州市の民生委員の活動は、いのちをつなぐネットワーク課の設置や福祉協力員との連携強化などにより地域での見守りができている。このような仕組みを今後の市における民生委員の負担軽減策として提言していきたい。



※1「SNS」(Social Networking Service) … インターネット上で人同士のつながりを電子化するサービス

※2「クラウド」… データをインターネット上に保存し、自宅、会社などからアクセスできるサービス

第364回定例会 審議結果

全会一致

▼平成27年度住宅新築資金等貸付事業特別会計予算▼平成27年度東山墓園造成事業特別会計予算▼平成27年度農業集落排水事業特別会計予算▼平成27年度公共下水道事業特別会計予算▼平成27年度病院事業会計予算▼平成27年度水道事業会計予算▼みえ森と緑の県民税市町交付金基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定▼郷土資料館の設置及び管理に関する条例の制定▼行政手続条例の一部改正▼職員の退職手当に関する条例の一部改正▼手数料徴収条例の一部改正▼消防団に関する条例の一部改正▼体育施設使用条例の一部改正▼市道路線の認定▼平成26年度一般会計補正予算(第6号)▼平成26年度住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)▼平成26年度東山墓園造成事業特別会計補正予算(第1号)▼平成26年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)▼平成26年度公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)▼平成26年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)▼平成26年度介護保険特別会計補正予算(第4号)▼平成26年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)▼平成26年度病院事業会計補正予算(第1号)▼平成26年度水道事業会計補正予算(第2号)▼平成26年度一般会計補正予算(第7号)▼監査委員の選任同意▼教育委員会委員の任命同意▼固定資産評価審査委員会委員の選任同意(2件)▼(議員提出議案)市議会委員会条例の一部改正▼(議員提出議案)難病対策の充実等に関する意見書の提出▼(議員提出議案)ドクターヘリの安定的な事業継続に対する支援を求める意見書の提出

表決が分かれた議案

- ①平成27年度一般会計予算
- ②平成27年度一般会計予算(修正案)
- ③▼平成27年度国民健康保険特別会計予算▼平成27年度介護保険特別会計予算▼平成27年度後期高齢者医療特別会計予算▼特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の制定▼地域包括支援センターにおける包括的支援事業の実施に係る人員等に関する基準を定める条例の制定▼指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の制定▼地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定▼保育の利用等に関する条例の一部改正▼介護保険条例の一部改正▼指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正▼指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正▼職員の給与に関する条例の一部改正

会派	無党派		春風会		日本共産党			心風会			公明党			清風クラブ					
議員名	柏	浦崎	山下	川合	田北	三原	幸松	森脇	永岡	柳生	阪本	富田	細矢	足立	常俊	森岡	豊岡	吉田	福田
①	×	×	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
②	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×
③	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は採決に加わりません。○は賛成した議員、×は賛成しなかった議員

もっと近くに、もっと身近に 名張市議会

「議会録画中継」パソコンでも!スマホでも!

各定例会の開会から閉会まで、本会議の全日程がCATV(アドバンスコープ203ch)で生中継されています。また、生中継を見れなかった人も、インターネットで録画配信をご覧いただけます(おおむね1週間後の配信)。



議会録画中継をご覧いただくには、名張市議会ホームページ(市ホームページから名張市議会をクリック)の左上ボタンをクリックしてください。

~多数ご参加をいただきました~ 平成26年度議会報告会

12月13日~1月24日、市内15地域で行った議会報告会では、計318人の皆さんにご参加をいただきました。ありがとうございました。



議会報告会では、議員から議会の仕組みや定例会での審議内容について報告し、各地域の皆さんからは、議会や市政運営・地域の課題などについて、さまざまな意見や質問がありました。

市議会に関しては、議会の仕組みや議決方法、各常任委員会の所管などについての質問や、議員の資質や議員報酬削減など、議会報告会の運営方法については「議員それぞれの考えをもっと聴きたい」「質疑の時間が少ない」「今後も議会報告会を開催してほしい」などの意見がありました。

いただいた意見などは今後の議会活動や市政への提言などに活かしていきます。また、引き続き議会報告会を開催していきますので、今後もご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

市政に対してのご意見など

市立病院の経営状況および輪番制、ごみのリサイクル、環境推進員の廃止、汚水処理・下水道計画及び分担金、市立小中学校の適正規模・適正配置の後期計画、教職員の充実、10万人都市に向けて、ゆめづくり協働事業交付金の削減、地域活性化やコミュニティビジネス推進、地方創生交付金による名張の活性化、不当要求行為の防止等に関する条例制定、市長・副市長の給料減額、住民票などのコンビニ交付、市の女性進出状況、待機児童の現状、防災訓練、観光資源の活用、市財政状況、固定資産税の引上げ、地方交付税の減額、介護保険給付費の削減 など

◆議会報告会の各班からの報告書をHPに掲載しています。【掲載ページ】名張市HP>市議会>平成26年度 議会報告会報告書

6月 議会日程 ※予定を変更する場合があります。
開会時間は午前10時からです。ぜひ、傍聴にお越しください。

6月11日(日) 開会	22日(日) 総務企画委員会
16日(金) 一般質問	23日(金) 教育民生委員会
17日(土) 一般質問	24日(土) 産業建設委員会
18日(日) 一般質問	29日(金) 採決
19日(月) 補正予算	

市議会の情報はホームページやフェイスブックでも

名張市議会、名張市議会事務局(市役所ホームページ内)のホームページからアクセスできます。<http://www.city.nabari.lg.jp/110/index.html>
また、フェイスブックページでは、開かれた議会に向けて、名張市議会に関する情報を随時掲載しています。
フェイスブックアドレス <https://www.facebook.com/nabarishigikai>

ご意見・ご要望をお待ちしています
議会広報特別委員会(議会事務局 63-7834)